

米の需給状況について

令和 7 年 6 月 9 日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

本県を含め、全国的に主食用米の作付けは増加する見込みです。
主食用米の需給バランスを保ちながら、麦、大豆等の畑作物や収益性の高い園芸作物への作付転換など、需要に応じた生産を引き続き実践することが必要です。

1 国の需給見通し

国は、令和 6 年 10 月 31 日（一部変更：令和 7 年 1 月 31 日）に「食料・農業・農村政策審議会食糧部会」を開催し、米の需給見通しを示しました。

7 年産主食用米等生産量の見通しは、9/25 現在の 6 年産予想収穫量と同じ 683 万トンと設定されました。

○令和6/7年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和 6 年 6 月末民間在庫量	A	153
令和 6 年産主食用米等生産量	B	679
令和 6 / 7 年主食用米等供給量計	$C = A + B$	832
令和 6 / 7 年主食用米等需要量	D	674
令和 7 年 6 月末民間在庫量	$E = C - D$	158

○令和7/8年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和 7 年 6 月末民間在庫量	E	158
令和 7 年産主食用米等生産量	F	683
令和 7 / 8 年主食用米等供給量計	$G = E + F$	841
令和 7 / 8 年主食用米等需要量	H	663
令和 8 年 6 月末民間在庫量	$I = G - H$	178

2 生産の目安

各都道府県は、全国の需給状況を踏まえて、12 月頃に 7 年産の主食用米の生産計画（生産の目安といいます）を設定します。

本県においても、県産米の需要量シェア、在庫水準等を試算し、令和 6 年 1 2 月に 7 年産の生産の目安を 6 年産作付実績と同じ 56,500ha に設定しました。

○福島県の令和7/8年の主食用米等の需給見通し (単位：トン)

主食用米作付面積 (ha)	①	56,500
令和7年6月末民間在庫量	②	110,848
令和7年産主食用米等生産量	③=①×5.53 ^{注1}	312,445
令和7/8年主食用米等供給量計	④=②+③	423,293
需要量シェア ^{注2} (%)	⑤	4.5366
令和7/8年主食用米等需要量	⑥=663万トン ^{注3} ×⑤	301,230
令和8年6月末民間在庫量	⑦=④-⑥	122,063
在庫量/需要量 (%)	⑧=⑦/⑥	40.52

注1 福島県の令和6年産平均単収 553kg/10a

注2 全国に占める福島県の需要量のシェア (過去6中4の単純平均)

注3 全国の需要量

多くの主産県では、前年より主食用米の作付けを増加する生産の目安を設定しており、4万ha程度(21万トン程度:令和6年産1.7mmふり目幅全国平均収量537kg/10aで試算)の生産増加が見込まれています。

3 水田における作付意向

国は、令和7年5月23日に4月末時点の7年産の水田における作付意向を公表しました。これによると全国の主食用米の作付意向は、131.7万haとなり、前年産実績を5.8万ha上回る結果となっています。

本県においては、前年より5.9千ha増加の62.4千haとなっており、生産の目安を大きく上回っています。

飼料用米や備蓄米が大きく減少し、主食用米の増加につながっています。

○主食用米の作付意向 (令和7年4月末時点) 単位：千ha

都道府県名	6年産実績①	7年産作付意向(4月末)②	前年差(②-①)	前年比%(②/①)
全 国	1,259.0	1,317.0	58.0	105
福 島	56.5	62.4	5.9	110

○戦略作物等の動向 (令和7年4月末時点) 単位：千ha

		戦略作物							備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	
			新市場 開拓用米	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲			
全国	本年	44.4	10.5	4.7	67.2	53.4	97.4	78.4	17.5
	前年	50.2	11.2	6.3	98.7	56.5	103.1	84.4	30.0
	前年差	▲ 5.8	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 31.5	▲ 3.1	▲ 5.7	▲ 6.0	▲ 12.5
福島	本年	0.5	0.1	0.0	4.7	1.0	0.4	0.9	2.1
	前年	0.4	0.2	0.0	7.0	1.1	0.4	0.9	5.6
	前年差	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 2.3	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 3.5